

学 習 指 導 案

日 時	令和2年11月2日(月) 5限目	指 導 者	
指 導 ク ラ ス	2年3組(男子5名、女子18名)	場 所	2-3教室
単 元 名	第7章 アジア諸地域の繁栄 第1節 東アジア世界の動向 明朝の朝貢世界	使用教材	・教科書「詳説世界史B」(山川出版) ・副教材「グローバルワイド最新世界史図説」(第一学習社)
単元の目標	「中華帝国」といわれる独特な政治的・儒教文化的特質を理解する。		
本時の目標	鄭和の南海遠征の背景や目的、影響を考察することで、その意義と問題点を理解する。		
評 価 の 観 点 (本時は4観点のうち2観点で評価する)	①鄭和の航海の内容についての資料から、読み取った情報を地図上にアウトプットしたり、複数の諸資料から情報を総合して活用したりすることができる。【技能】 ②資料から読み取った情報をもとに、鄭和の南海遠征が行われた背景と目的およびその影響について考察することができる。【思考・判断・表現】		

本時の展開

過 程	指 導 内 容	学 習 活 動 ○学習事項 Q:発問	指 導 形 態	指 導 上 の 留 意 点	評 価 【評価の観点】 <評価方法>
導 入 15 分	既存の海の交易ネットワークの利用	○前時の復習:洪武帝は皇帝独裁体制を強化したことを確認する。 ○習近平政権による「一带一路」構想を紹介する。 ○鄭和について簡単に紹介する。 ○キリンが献上された絵からアフリカまで遠征に行ったことを説明する。	全体	<ul style="list-style-type: none"> 近年の中国では「一带一路」構想の提唱に伴って、鄭和が注目されたことに触れ、鄭和への関心を持たせる。 鄭和の宝船とコロンブスやヴァスコ＝ダ＝ガマの船の大きさを比較しつつ、鄭和の知名度が低いことやその後同様な大規模航海は行われなかったことに触れ、鄭和の航海に疑問を感じさせる。 	
		<p>SQ1. そもそもなぜ鄭和はアフリカまで到達することができたのか?</p> <p>SQ1-1. 鄭和の寄港先を示す資料より地図上に鄭和の訪れた都市をマークし、遠征航路を書き込もう。 ①白地図上に港を記入 ②ルートを書き込む ③代表者が MetaMoJi Classroom クラスページに記入</p> <p>SQ1-2. 鄭和は新航路を開拓したのか否か。資料を根拠に答えよう。 ○鄭和は既存の海の交易ネットワークを利用したのであり、13・14世紀までに特にムスリム商人によって東西交流圏が成立していたことを学習する。</p>	個別 ↓ グループ ↓ 全体	<ul style="list-style-type: none"> 指定したグループごとにタブレット上で共同作業をさせる。 鄭和の人物像(宦官・ムスリム)であることにも触れ、ムスリム商人の海のネットワークを使用したことを確認させる。 4回目以降の航海では目的地が変更されたことを読み取らせる。 教科書、資料集など様々なツールで問いに答える資料を探させ、見つけたらタブレットで撮影して共有させる。 15世紀からの大航海時代と呼ばれる時代も、こうした既存の交易ルートへの参入であったことを示す。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決に必要な資料を主体的に収集し、そこから推論をしている【技能】 <発表の様子>

<p>展 開 ① 10 分</p>	<p>鄭和の南海遠征の目的</p>	<p>MQ： どうして鄭和は南海遠征に行ったのか？</p> <p>○ジグソー法を用いて、班ごとに資料から読み取れる「背景」と「目的」「影響」について読み取らせる。 *資料の内容は以下の通り。 ①遠征のねらい・朝貢国とその回数の変化 ②中華思想と朝貢 ③遠征後の概況</p>	<p>個別 ↓ グル ープ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各班につき1つの資料を読解し、南海遠征の「背景」と「目的」「影響」に対するヒントになる箇所にマークをつけさせる。 班内で読み取れる内容をまとめ、「MetaMoJi ClassRoom グループページ」にメモさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに鄭和の南海遠征の背景等を読み取ることができている。【技能】 <p><プリントの内容></p>
<p>展 開 ② 10 分</p>	<p>資料内容の交流</p>	<p>SQ2. 読み取った内容を交流し、MQに対する答えを導こう。</p> <p>○各班の代表者が読み取った内容を発表する。 ○以下の4点を確認する。 ①他国に国威を示す背景と目的 ②他国と貿易を行う背景と目的 ③中華思想の儒教的特色 ④各目的に対する影響</p>	<p>グル ープ ↓ 全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「MetaMoJi ClassRoom グループページ」を共有しながら発表させる。 政治面、経済面、宗教面から多面的に南海遠征の背景、目的、影響を捉えられるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 交流した情報をもとに、なぜ鄭和の南海遠征が行われたかについて考察することができている。【思考・判断・表現】 <p><プリントの内容></p> <p>十分満足できると判断される状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 明朝の国威を示す目的で朝貢を促進したこと、朝貢に乗じて南洋諸国と通商を行おうとしたことの両面について資料から読み取った内容をもとに考察できている。
<p>ま と め 15 分</p>	<p>本時のまとめ</p>	<p>MQ+： 鄭和は南海遠征の意義とは？</p> <p>○MQに対するまとめをメモリーツリーの形式でプリントに記入する。 ○5分経過時点で数人に発表させる。</p> <hr/> <p>○鄭和の南海遠征の意義と問題点について総括する。 意義 ①朝貢システム下における和平実現 ②朝貢貿易が生み出す関連諸国の経済的繁栄 ③皇帝＝天子を中心とする儒教的国際秩序の構築 問題点 ○赤字貿易による財政難</p> <p>○以下の発展課題を提示する。 発展課題 Q. なぜ「一带一路」構想に伴って鄭和が持ち出されたのだろうか？ →できる人は Classi へ入力</p>	<p>個別 ↓ 全体</p>	<ul style="list-style-type: none"> 冒頭の「一带一路」構想を念頭におき、メモリーツリーを作成するゴールとして、南海遠征の意義と問題点を整理するよう促す。 7分の時点で、自分のメモリーツリーを写真にとり、「MetaMoJi ClassRoom 個人ページ」に載せる。 早く進んでいる生徒の発表を聞き、それぞれのメモリーツリーを補完させる。 「朝貢の促進」は中国特有の事象であることに触れ、「中華帝国」たる特質にどう寄与したか考えさせる。 	<p>努力を要する状況への手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> 手が止まっている生徒へ机間指導を行い、読み取った情報から導き出される「目的」は何か、そこから何が言えるのかを問いかけ、整理させる。